

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団体名	公益財団法人八尾市文化振興事業団
施設名	八尾市文化会館(プリズムホール)
内定額	11,542 (千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数		309	307
年間事業本数（※1）	主催事業	60	55
	公演事業	8	9
	（内、本助成対象事業本数）	7	8
	人材養成事業	11	8
	（内、本助成対象事業本数）	5	5
	普及啓発事業	36	33
	（内、本助成対象事業本数）	11	11
	その他 内容： 基本計画推進事業 など	5	5
貸館日数	ホールごとの貸館日数	376	379
	ホール名： 大ホール 座席数： 1317	170	173
	ホール名： 小ホール 座席数： 330	206	206
	ホール名： ― 座席数： ―		
	ホール名： ― 座席数： ―		
	ホール名： ― 座席数： ―		

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	13,672	21,140
	公演事業	3,407	5,476
	人材養成事業	3,708	2,563
	普及啓発事業	6,557	13,101
	その他 内容： 基本計画推進事業 など	0	0
	貸館事業入場者・参加者数	187,457	196,831
	その他 内容： ―	0	0
	計	201,129	217,971
施設の利用率(%)		66.3%	73.4%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※4）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	8	10	3,407	74.1%	1	3	2	2	0	0	0
	共催・提携公演（※2）	7	15	6,131	78.1%	3	2	0	2	0	0	0
	貸館公演（※3）	360	387	112,934	63.3%	4	125	27	2	3	8	191
	計	375	412	122,472								
令和6年度	主催公演（※1）	9	15	5,476	87.8%	2	3	0	3	0	0	1
	共催・提携公演（※2）	10	28	9,405	71.6%	1	8	0	1	0	0	0
	貸館公演（※3）	290	335	109,969	87.1%	11	107	24	6	6	11	125
	計	309	378	124,850								

※1 名義主催は除きます。

※2 名義共催を含みます。

※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。

※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業 番号	事業名	入場者数		入場者 率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	備考
公-01	地域の魅力を活かした本物の作品の創造・発信事業1 高安薪能「鉄輪」～能楽ゆかりの神社で夕焼けの絶景と幽玄の美を堪能する～	目標 値	141	94.0%	アンケートの「八尾のまちはいいなあと思った」と感じる人の割合	40%以上	28.60%	入場者目標を大幅に超えて達成。顧客アンケートにおいて評価指標に対する目標は達成できなかったものの、同項目における「鑑賞意欲向上」「心が豊か」はともに40%を超えており、地元の伝統芸能への魅力を感じていただいた。		
		実績 値	220	146.7%						
公-02	地域の魅力を活かした本物の作品の創造・発信事業2 地域の魅力を活かした本物の作品の創造・発信事業2 人間国宝認定記念トーク&公演 文楽人形遣い「吉田玉男の世界」	目標 値	270	83.3%	アンケートの顧客満足度	80%以上	84.70%	文楽公演と玉男氏のトークをセットにした内容に対しての高評価の意見が14件と目立った。チケットは完売し満足度も高く、質の高い公演であったと評価できる。		
		実績 値	317	100.0%						
公-03	地域の魅力を活かした本物の作品の創造・発信事業3 オリジナル声優朗読劇 フォアレーゼン～大坂夏の陣～	目標 値	1,036	80.0%	SNSの発信数、高評価等の反応数	50件以上	350件	集客は目標には届かなかったが、人気声優による朗読劇ということで20・30代の観客が5割近くを占めていた。比較できる令和5年度の鑑賞事業全体ではこの年代の集客は1割程度のため若い世代の集客に結びついた。		
		実績 値	657	70.3%						
公-04	地域の魅力を活かした本物の作品の創造・発信事業4 LEO箏リサイタル	目標 値	280	86.4%	アンケートの顧客満足度	80%以上	81.90%	伝統的な箏の名曲と、現代曲を織り交ぜたプログラムで、満足度目標を達成できた。集客についても前売で完売し、目標を達成できた。地元の箏奏者による体験コーナー企画という地域連携にも取り組むことができた。		
		実績 値	312	100.0%						
公-05	子どもの豊かな育ちを促進創造・発信事業 親と子のはじめての演劇体験 プリズム・チャームプロダクション・シリーズ「ばーちゃる～時を超える箱舟～」	目標 値	1,656	89.3%	アンケートの顧客満足度	80%以上	92.90%	学校招待をした小学5年生の満足度は非常に高く、94.5%が「おもしろかった」と回答してくれた(回収枚数は732枚)子どもがはじめて触れる演劇としてよいものを創造できたといえるが、有料集客について課題が残った。		
		実績 値	1,283	69.5%						
公-06	日本トップレベル連携事業 大阪フィルハーモニー交響楽団八尾演奏会 八尾で聴く至極のオール・ドヴォルザーク～ノスタルジア～	目標 値	1,073	81.9%	アンケートの顧客満足度	80%以上	83.10%	入場者数・指標とも目標を達成した。顧客アンケートでの満足度に対しては無回答を除くと96.8%で、「心が豊かになった」は60.5%の高い評価を得ている。		
		実績 値	1,195	91.2%						
公-07	優れた芸術作品の鑑賞機会拡充事業1 菊本和昭&ジ・オオサカ・ブラスターズコンサート ～「吹奏楽のまち 八尾」に響け！最高峰の金管サウンド～	目標 値	300	92.6%	アンケートの顧客満足度	80%以上	84.40%	観客の1/4を25歳以下が占め、若い年代も集客することができた。また、メジャーな曲はそれほど多くなかったにも関わらず満足度も高かった。有料入場率について目標設定時に見込みが高すぎたことが反省点。		
		実績 値	277	83.9%						
公-08	優れた芸術作品の鑑賞機会拡充事業2 プリズム寄席 おもしろハッピー落語会	目標 値	260	80.2%	アンケートの顧客満足度	80%以上	80.90%	実力のある旬の噺家や地元出身の若手噺家の顔ぶれで、この旬タイミングでの開催に非常に価値のある会であった。活気ある内容で、満足度・集客ともに高く、市民に活力を届けることができた。		
		実績 値	330	100.0%						

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業	外部メディアの取り上げの数	8件以上	129件	公演事業では、目標としていた外部メディアでの取り上げ数(8事業×1件以上)8件を目標としていたが、3事業でプレスリリース等の有料配信サイトを活用したことで、目標値を大きく上回る結果となった。その他、3事業4回の地方誌を含む新聞掲載があった。次年度、同内容にて目標値を設定する場合は、有料でのリリースも広報計画に盛り込み、目標値を設定したい。 公演事業全体においては、申請事業8事業の入場者率92.6%、アンケートの満足度84.2%と非常に高い結果となり、当館ならではのオリジナリティあふれる公演を提供することができた。		
人材養成事業	当該事業のアンケート回答者の満足度	80%以上	87.78%	人材養成事業では、目標としていたアンケートの満足度80%以上を上回る実績となり、目標を達成できた。 【人材-1】吹奏楽クリニックでは、学校の顧問からの意見聴取によって毎年内容を検討する機会を設けることで、それぞれのニーズにあった内容での実施を行えている。また、【人材-5】プリズム市民サポーター活動では、スタッフや参加者間で自由にいつでも意見交換をすることができるLINEグループを活用することで、一人一人の参加者意識を高めることができている。これらにより、高い満足度を得ることができた。		
普及啓発事業	当該事業のアンケート回答者の満足度	80%以上	84.19%	普及啓発事業では、目標としていたアンケートの満足度80%以上を上回る実績となり、目標を達成できた。 【普及-7】フレンドリーコンサートでは、対象者を乳幼児や小学生以下の子ども(障がい者含む)とご家族と限定したことにより、企画のターゲットをわかりやすく絞り込むことができ、チケットの完売ならびに満足度91.1%と高い評価を得ることができた。 これまで当館では、企画を検討する時点で対象者を設定しているものの、誰に何を届けたいのかをピンポイントに絞り込まないまま実施している事業もあったため、次年度以降は、更に目的とターゲットを明確にし、お客様にも分かりやすい内容としていきたい。		

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・公演事業は、申請8事業のうち半数の4事業について他館・他地域では観ることができないオリジナル公演を企画実施することができた(公-1、2、3、5)。地域の資源、魅力を作品化する力が向上した(作品化するにあたり、地域住民との連携も深まった。
例としては、＜公-2＞人間国宝認定記念トーク&公演 文楽人形遣い「吉田玉男の世界」では八尾市出身の吉田玉男氏が人間国宝に認定されたことを契機として、玉男氏のトークと文楽公演をセットにした文楽の世界に入りやすい企画を実施した。
チケットは前売開始早々に即完売という好評ぶりであった。
＜公-3＞声優朗読劇フォアレーゼンでは、地域の観光ボランティアガイドによる「大阪夏の陣〜八尾・若江の戦い」のレクチャー動画を一緒に作成し、YouTubeで広く発信した。市民団体や近隣商業施設との連携が広がった。
・人材養成事業では「こども河内音頭講座」で育成されたこども河内音頭大使が、大阪・関西万博に2度参加機会を得るなど八尾の魅力の担い手として養成ができています。
・普及啓発事業では、今回で通算3度目の開催となる＜普及-4＞避難訓練コンサートでは、八尾市消防本部が実施する消防総合訓練との合同実施となり、当館にてはしご車や緊急脱出の実演も行われてこれまで以上に内容を充実させることができた。

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
在住外国人や訪日外国人に向けた文化芸術体験への参加機会を促す、または提供する取り組みの数	7件以上(※申請外事業における取組含む)	7件	想定通りの成果があった。 具体的な取り組みとしては、バリアフリー・多言語対応にて申請した5事業で、翻訳チラン(ウェブページ)の作成を5件、【公演-1】で、外国学生コミュニティへのPR1件、【普及-8】で外国学生コミュニティへのアウトリーチ1件の、計7件を実施した。 これにより、【公演-1】の薪能には外国人留学生の参加があり、また【普及-8】の八尾中学校夜間学級アウトリーチには25名の外国人が参加し、芸術文化や市の文化会館である当ホールを身近に感じてもらえる良い機会となった。		

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・地域の伝統芸能を学ぶ「こども河内音頭講座」(人-2)へ中国、メキシコなど外国にルーツのある子たちも参加するようになった。 ・(普及-8)の外国人学生コミュニティへのアウトリーチでは、受入れ側の夜間学級のニーズを踏まえて年毎に違う国の文化をテーマにして内容を企画しており、他国の文化を取り入れる企画のノウハウが蓄積できている。 令和6年度についてはネパール文化をテーマに、通学するネパール人学生も巻き込んでダンス体験を企画することができた。
--

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)

※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
①(文化拠点・地域連携・子どもへの機会提供機能の観点として)事業の実施にあたって連携した機関(団体)数 ②(ホール利用サービス(貸館事業)の向上の観点として)貸館利用率向上に向けた能動的な取り組み件数(利用履歴のある団体への次回利用予定の確認など) ③地域ならではの特色を持ったイベント等の施策実施数	①100機関(法人・団体・個人)以上 ※申請外事業の取り組みにおけるカウントも含む ②取り組み件数5件以上 ③5件以上	①105機関(法人・団体・個人) ※申請外事業の取り組みにおけるカウントも含む ②取り組み件数11件 ③5件	全体として、想定以上の成果があった。 ①令和6年度も八尾市内の文化活動団体(個人)や市内企業等を中心に、多くの団体と連携し、八尾ならではの特色ある事業を企画・制作し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決に寄与した。例としては公演事業では地元ならではの史実を題材にした朗読劇公演の上演に際して史跡の関係者か情報収集を行い作品化。またまち歩きやコスプレイベントを関連企画として実施する中で地域の商業施設、ボランティア団体とのつながりが強化された。全体的に地元アマチュアの活動の機会の創出にも務めた。青少年に対しては、教育委員会との連携によりプロデュース演劇公演に八尾市内小学5年生の学校招待公演やまたプロによる学校訪問を実施し、好評をいただいた。 ②稼働率の向上ならびにサービスの向上を目的として施策として、施設抽選直後の空き状況のリアルタイム発信を毎月1日にHPやSNSで発信したほか、当館をご利用いただいて実現できることや利用料金等の割引サービスをわかりやすく掲載した案内チラシを作成し、関西圏内のオケや吹奏楽団・吹奏楽部などに広く案内を行った。 上記を含む取り組みを11件実施し、施設抽選直後の空き状況のリアルタイム発信など、利用者からは好評を得ている。 ③【公-1】では【普-6】のワークショップ、【公-2】では八尾出身の吉田玉男の軌跡展示、【公-3】では歴史解説動画配信と戦国コスプレイベント、【公-4】では地元邦楽団体の体験会を実施した。 これらも、①の団体との連携により実施できたものが多く、日ごろからの関係性構築の結果であり、地元活動団体の活用も行えた。		

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

事業の継続実施によって、過去に事業で関わった学生が今年度の事業にて学生へ指導する立場(プロ・アマとも)となったケースがあった。 具体的には ・人材養成事業の「吹奏楽クリニック」において、過去に大学連携事業で出演者として関わった学生が、プロの音楽家となり今年度の指導を担当した。 ・普及啓発事業の「吹奏楽フェスティバル」において、過去に中学生として出演していた社会人バンドが今回の中学校合同演奏のための指導をするといった、地域住民同士での育成機能が向上してきている。 申請事業・申請外事業の両方で構成される当館のエントランスロビーを中心に市民の展示やパフォーマンスの場をコーディネートする「プリズムアート&シアタープロジェクト」では39団体が参画、9,602人もの地域住民が参加した。

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
①カウント可能な主催事業における子ども、障がいの者、外国人の参加者数	①2,800人以上	①3,621人	全体として、想定以上の成果があった。		
②あらゆる人々と実演芸術をつなぐための創意工夫の取り組み数(多言語対応を除く取り組み、多言語対応は国際性の観点の目標として設定)	②15件以上	②15件	①アウトリーチ事業として実施している「芸術文化の課外授業」においては、助成金の獲得により、実施校数(実施回数)を増やすことができたことなどにより、目標を達成することができた。 プリズム・チャームプロダクション・シリーズの小学5年生招待公演も含め、様々な事情から芸術文化に触れ合う機会の少ない子どもたちの体験格差の解消に寄与することができ、想定以上の成果があった。 ②算出根拠として、アウトリーチの件数13件、フレンドリーにおいて要約筆記と看護師対応を行い、計15件であり、目標を達成した。		

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

子どもたちへの事業として、様々な手法のアプローチを行った。 児童への鑑賞・体験機会の提供としては学校へ訪問するタイプとホールへ招待・集約するタイプの両方の事業を実施した。 また、担い手が各分野の第一線で活躍するプロを呼ぶタイプのもの、地域に根付いた文化活動の担い手と連携するタイプのものどちらも実施した。 観客を区別しない事業が共生社会の実現のためには必要であるという視点から、子ども・障がいの者など対象限定することなくいろんな人が同じ場に居て楽しむためのコンサート「フレンドリーコンサート」(普及07-②)を企画実施した。 本事業は、定員100名×2公演で満員となり200人の鑑賞者のうち、小学生以下(子ども)の参加者が76人、・障がいの者が20人・一般成人94人という構成であった。 地域の放課後デイサービスに通所する子どもたちが団体で鑑賞に来られた。発達障害などを持つ子どもたちがグループで参加しやすい催しが珍しいとこのことで24名の子どもたちの来場に結びついた。 事業の企画は大学連携をしている相愛大学の学生と共同で行っており、プロの音楽家を目指す学生たちが社会包摂の機能を持つ音楽会づくりについて計画実践を経験する機会ともなっている。
--

評価項目⑤: 自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点
当館のミッション (1)創造性豊かな本物の作品がもたらす感動と生きる意欲 (2)つながりと交流がもたらす生き生き市民社会 (3)地元(まち)の魅力でシビック・プライドを醸成 のうち、(3)ミッション実現のための観点

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
①シビック・プライドの向上度として、ミッション「地元(まち)の魅力でシビック・プライドを醸成」実現のための事業のアンケートで、参加した影響として「八尾のまちはいいなあと思った」の選択率	①40%以上	①21.7%	目標を達成できず、想定した成果を得られなかった。 公演事業(高安能、吉田玉男、フォアレーゼン、LEO)では17.3%、普及啓発事業(吹フェス来場者・実行委員・音頭フェス)では27.1%という結果であった。 このアンケートの設問については、他所から来場された方は「このような取り組みをしている八尾のまちはいいなあ」という回答を得られることが多いが、市民のシビック・プライドを向上させるという点においては、実施していることが当たり前になっていて、「改めて感じる」という感想にはなっていないように感じる。 八尾ならではの取り組みを市民にアピールするとともに、設問の設定に関しても検討していきたい。		

評価項目⑥: 運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保) 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	各種助成金に関しては、積極的に獲得に努めている。また、今年度新たな事業にて、サポートの仲間づくりの意味も含めて少額の協賛を実施する予定である。 寄附金に関しては、制度設計中であり、実施には至っていない。	現指定管理の事業計画記載の内容である「古本募金」等の募金制度を、令和6年度中に設計し、令和7年中に実施する。	令和6年度に、様々な事情から芸術文化に触れ合う機会の少ない子どもたちの体験格差の解消を図ることを目的とし、企業・団体・個人から支援を受けて子どもたちとその保護者をホールの主催公演へ招待する「こどもの笑顔応援プロジェクト」を試行した。	令和6年度は1事業で実施し、広報期間をあまり取れずに実施したものの、目標額の倍近くの協賛金が集まり、想定以上の成果があった。 令和7年度は、実施結果を受けて内容をブラッシュアップし、今後の実施に活かせるよう制度設計を再検討する。		
(イ)	(広報・営業力) 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。	昨年度末の地元FM局閉局に伴い、そこに充てていた予算の活用方法を検討中である。	これまで手が付けられていなかったSNSマーケティングやその他の広報に関して調査し、自分たちの会館に合った方法を見つけて、令和6年度中に新しい広報施策を3つ以上実施する。	Facebook広告やInstagram広告を有料にて実施した他、teket(テケット)を活用し安価もしくは無料公演のPRをする、また芸術文化に興味の無い人にも実施事業を知ってもらえるよう、近畿日本鉄道のHPへの情報掲載依頼など、新たな客層へのアプローチを4つ以上実施した。	FacebookやInstagramのクリック広告は、興味・関心のある/なしが測れ、今後のPRに活かしていけると感じた。 また、通常、当館の広報に関しては、芸術文化に興味関心のある方に対して行っている場合が多いので、興味のない人にも実施事業を知ってもらえる方法が持てたことは成果と言える。		
(ウ)	(他館連携) 他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。						
(エ)	(設置者) 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。	担当課との意思疎通はこまめに行い、良好な関係性が築けているが、市の人事異動等により、関係性が断たれてしまいがちである。	今期の指定管理期間(令和9年度末まで)において、これまでの事業運営の方向性や実績・成果などを、必要なタイミングで、新しい担当課職員に説明し、理解を促す。そのための説明会を実施する。	令和6年度に市担当者に対し、当館のこれまでの実績・成果と、基本理念及びミッションと事業の結びつきなどを含めた事業運営の方針について、当館全職員参加(結果的に業務都合で一部職員が欠席)の場において、説明会を実施した。	令和6年度の説明会では市担当者から一定評価を得た。が、市担当者の人事異動はあることから、この1回に終わらず、定例協議の場などで説明を重ねる。加えて、令和4年の条例策定に際して立ち上がった市の文化的ネットワークに協力し、引き続き意思疎通と理解を深める。		
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督) 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。						
(カ)	(長期的経営) 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。						
(キ)	(専門人材の確保) 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。						
(ク)	(職制の整理) 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。	一部、専門性に基づいた整理をし切れていない。	組織の状況や指定管理業務の内容を見つつ、今後検討する。	現状は当事業団事務分掌および、求められる人材像の職務・職層による評価項目にて、整理し人事評価にも反映している。	左記の通り役割分担が整理され機能しているが、今後も組織の状況及び業務内容を見つつ、より適切で具体的な内容へ精査するよう工夫する。		
(ケ)	(世代間バランス) 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。						
(コ)	(ジェンダーバランス) 女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。						
(サ)	(ワークライフ・バランス) 仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。						
(シ)	(コンプライアンス順守) 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。						
(ス)	(ハラスメント防止対策) 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。						
(セ)	(適正な契約事務) アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。	これまで一定決まったフォーマットで契約し、特別事項がある場合のみ、その文章を追加する程度であったが、(公社)全国公立文化施設協会が実施された「適正な契約に基づく事業実施のための研修会」を事業担当全員で受講し、その認識を改めた。	時代の変化とともに「安全衛生・保険」「権利の帰属・業務成果の利用」「秘密保持」など、契約書でしっかりと定めておく必要があるため、今年度から条文を追加する。また、市民を対象としたワークショップ等においても「参加同意書」を提出してもらうよう改善する。	令和6年度より、左記条文の追加を行うとともに、市民を対象としたワークショップ等においても「参加同意書」を提出してもらうよう改善を行った。	これまで長く継続していただいている「プリズム市民サポーター」にも「参加同意書」を提出していただいた。 改めて、ホール側が望むことや遵守事項について明文化することで、互いの理解に役立った。		

4. 総評

・ 団体の自己評価

〈総括〉
・当館の基本理念およびミッション実現のため各事業区分に基づき個々の芸術文化事業を企画・展開した。これにより、ビジョンである「生きる意欲をもって誰もがかがやける社会、地元の魅力にあふれ、つながりとやさしさで包まれる社会の実現」に向け、おおむね当初の目標を達成することができた。

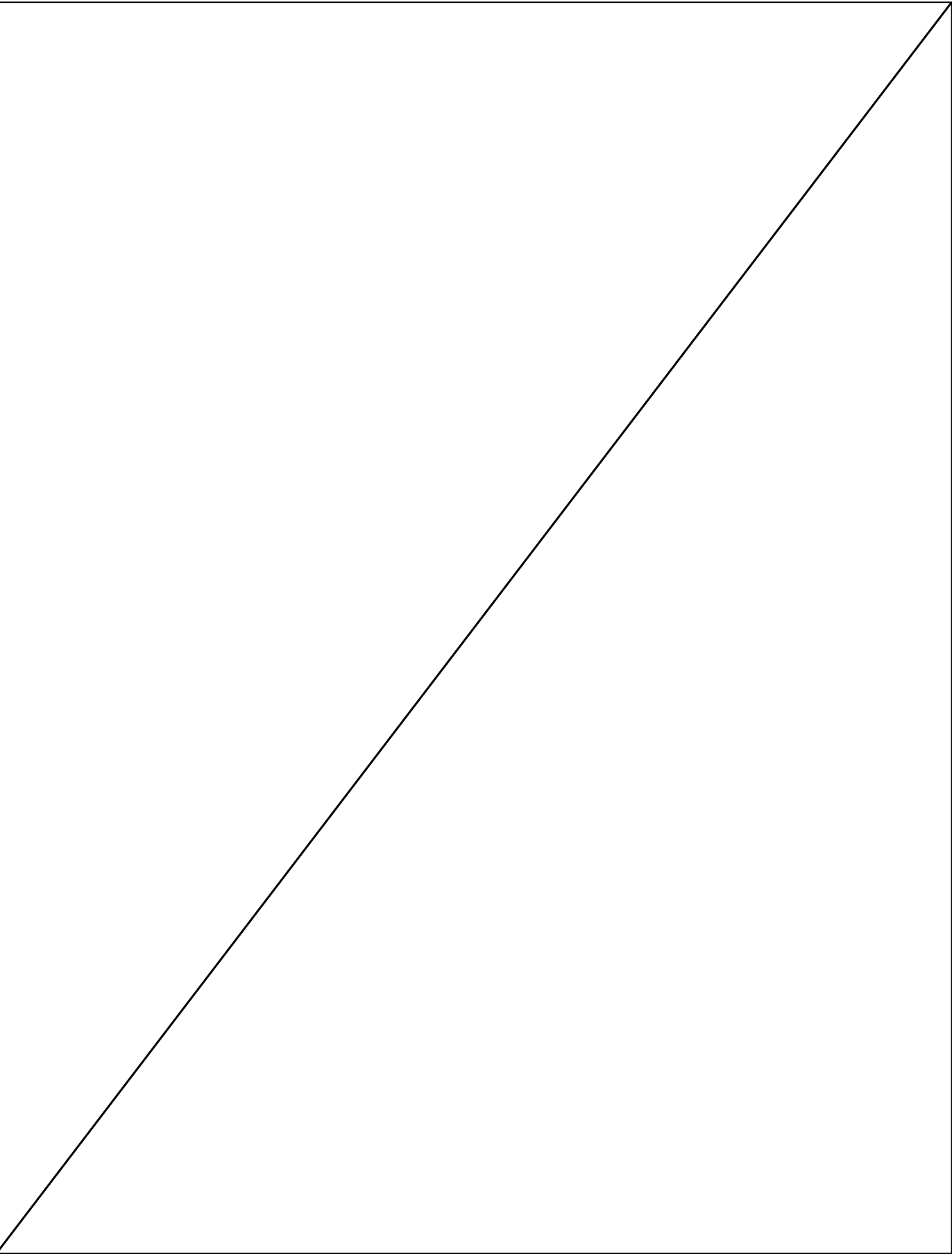
〈公演事業〉
・ミッション(1)の感動と生きる意欲をもたらすものとして、日本トップレベルとの連携の1事業(公-06)や優れた芸術作品の鑑賞機会を拡充する2事業(公-07と08)においては青少年～一般を対象に実施し、いずれの事業についても八尾ならではの工夫を凝らすことで、満足度はすべて80%以上と高く、目標を達成し、感動と生きる意欲をもたらすという成果を上げることができた。
・同ミッション(1)の児童を対象とし子どもの豊かな育ちを促進する1事業(公-05)は、学校単位で招待することで、家庭の事情によらず、参加校のクラス全員の子どもたちに良質の演劇公演の鑑賞機会を提供できた。満足度は92.9%と非常に高く、一般公演を合わせると1000人を超える子どもに素敵な体験を提供できた。一方で、少子化及び学校からのアクセスの問題で入場者数と有料入場者数は目標に達しなかった点、今後課題を残した。
・(公-05)では子どもの体験格差を解消するための協賛金募集の事業を始動し、目標を上回る成果を上げた。令和7年度も継続予定で、これにより入場者数・有料入場者数の課題解決の一つとするとともに、児童・青少年を対象とした他の事業にも横展開を試みる。
・同ミッション(1)の地域の魅力を生かす本物の作品は、公演事業全8事業のうちの半数を占める4事業(公-01、02、03、04)で工夫を凝らし、数多く八尾の魅力を発信できた。4事業ともに八尾ならではの特色を出した企画となった。ほとんどの事業で入場者率の目標を達成したが、(公-03)声優の朗読劇という初めてのジャンルの事業と、目標値を満席近くに高めてしまった(公-07)では目標を達成しなかった。加えて(公-01)で八尾のまちの良さを測る指標で目標を達成しなかったが、アンケート設問がやや抽象的で人により受け止め方が異なる可能性がアンケート分析から示唆された。設問の工夫が課題となった。
・公演事業全体として、地域の魅力を生かすことや感動・意欲をもたらす事業は総じて成果を上げている。一方で、今後力を入れようとしている子どもの体験格差の解消を目指す事業については、子どもに決定権がないため、決定権のある大人(親、学校)にとっていかに料金やアクセスの点など改善をして参加を促すかが課題となっている。

〈人材養成事業〉
・ミッション(2)で次世代の養成や生き生き市民サポーターの養成を、ミッション(3)地域の魅力の担い手の養成を、それぞれ実現する5事業を企画・展開した。全体として88%に迫る満足度を出し目標を達成した。また、地域の次世代養成(人-3)のテクニカルワークショップでは、小学生時代に当館のバックステージツアー(普-5)に参加し、今回高校生になってテクニカルを受講した参加者(大学進学後は照明を学ぶという動機)がおり、実践編で小学生に指導していた。このような例はこれまでも散見され、ホールとしてこの事業がまさに次世代の人材を養成し、今後につなげているという貴重な成果が明らかになった。人材育成は長期戦であり、継続の重要性を改めて感じた。
・地域の担い手の養成では、河内音頭の養成について中学・高校の期間の養成の受け皿が不足がちになっている点、検討課題である。いたずらに事業数を増やすのではなく、他団体との連携などの模索も必要である。

〈普及啓発事業〉
・ミッション(1)(2)(3)すべてにおいて実現するための11事業を企画・展開し、全体として84%を超える満足度を出し目標を達成した。(普-2)大阪フィルのトークライブは50人で予定していたところ反響が大きく80名にまで増席となった。また事前に友の会特別会員向けの交流の機会を設けるなど、世界的チェリストと市民の二度とないような体験の機会を提供できた。
・助成対象外事業「あなたのアートを輝かせよう!!」は、当館内で市民の「かかわりしろ」を作り、通年で各種の文化的な取り組みを30団体開催、4057人集客した。発表の機会とともに当館が市民でにぎわう拠点となった。また、助成対象外事業の八尾市が条例に基づき実施して2年目となる「やおうえるかむコモンズ」への協力も継続し、市民の主体的な参加の場を広げた。

・運営面では、貸館稼働率(利用料金収入)が目標を下回った点、及び芸術文化事業で事業本数が年々増加傾向にあり、見直しが必要などの課題が残っている。来年度は貸館の目標達成に向けての取り組みの強化、令和7年に開催される万博を控えた芸術文化事業全般の業務量のリバランスを行いつつ、子どもの体験格差解消などよりシャープにミッション実現に向かう事業展開の工夫を行う。

・所見



八尾市文化会館が、令和7年度の企画や運営に関わった地域の機関・市民団体
(以下、全て「機関」としてカウント)

【助成対象事業】 55 機関

連携数	団体名	団体の概説
1	高安能未来継承事業推進協議会	文化団体（地域伝統文化）
2	（特活）高安能・カエパス	文化団体（地域伝統文化）
3	八尾市観光ボランティアガイドの会	ボランティア組織
4	常光寺	地元寺院
5	アリオ八尾	地元商業施設
6	八尾市三曲協会	文化団体（地域伝統文化）
7	八尾児童合唱団	文化団体（コーラス）
8	喜楽亭	文化団体（地域伝統文化）
9	八尾本場河内音頭連盟	文化団体（地域伝統文化）
10	踊り手・かわち撫子会	文化団体（地域伝統文化）
11	三起商工株式会社（ミキハウス）	地元企業
12	大阪経済法科大学	地元大学
13	プリズム市民サポーター	ボランティア団体
14	ハレノヒカフェ	地元飲食店
15	空き家総合研究所（演劇教室）	地元企業
16	八尾人形劇連絡会	文化団体（人形劇）
17	相愛大学	大阪府内の大学
18	ルフレ八尾（母子ホーム）	地元福祉団体の施設

19	NPO 法人輝	地元福祉団体（通所スクール）
20～ 26	よみきかせサークル（7 団体）	文化団体（よみきかせ）
27	八尾市消防本部	八尾市役所関係機関
28	八尾市教育委員会	八尾市役所関係機関
29	八尾中学校夜間学級	八尾市立の公立学校
30～ 37	アウトリーチ学校（8 校）	八尾市立の公立学校
37～ 54	八尾市中学校・高校吹奏楽部・一般団体（18 団体）	八尾市立の公立学校の吹奏楽部
55	ハレノヒカフェ	近隣カフェ

【助成対象外事業】49 機関

連携数	団体名	団体の概説
1	F2 おんがく教室	文化団体（音楽教室）
2	徳治昭童画館	文化団体（童画）
3	やおうえるかむコモンズ	文化団体のネットワーク組織
4	みせるばやお	八尾市役所関係機関
5	ハミール	文化団体（コーラス）
6	河内木綿藍染保存会	文化団体（地域伝承産業）
7～36	1 階オープンコーナー等出展・出演者（30 団体）	文化団体・個人
37～ 49	プリズムクラブ（友の会）協力店舗（13 団体）	地元飲食店・服飾雑貨店等